sanwa company

CHATEAU BLANC

シャトーブラン取扱説明書

シャトーブラン ウェットタイプ（塗装用）　WP06061
漆喰用下地処理材（内部塗装用）　WP06071
漆喰用下地処理材（外部塗装用）　WP06091

この説明書には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
また、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

0 下地処理

《下地処理方法を参照》

1 養生

※内部・外部共に必要な場合は養生してから施工してください。

《道具》

マスキングテープ

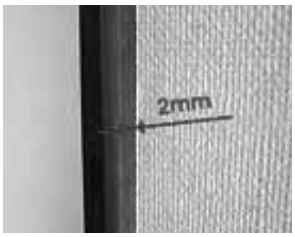
マスカー

ビニール袋

《コンセント周りの養生》

＜コンセントカバーを外す場合＞

＜コンセントカバーを外さない場合＞



コンセントカバーは外さずマスキングテープで養生します。
※塗り壁材厚の２㎜程度隙間を空けてマスキングテープを貼ります。

《その他の場所の養生》

天井

エアコン・窓

コンセント・換気口

窓周りや、開口枠・天井など、汚れがついても大丈夫なようにマスキングテープやビニール袋で養生します。

《床の養生》

巾木などがある場合、巾木の上端をマスキングテープで養生したあと、マスカーを重ねて床面も養生します。
※壁面より１m以上養生して下さい。
床がカーペットの場合は、めくるか外しておくほうが無難です。

2 下地処理材の施工

《道具》

ミキサーアタッチメント

バケツ15ℓ

ヘラ

網（フルイ代替）

《配合手順》

①バケツに水を1.9リットル入れます。
②漆喰用下地処理材（塗装用）４kg（１袋）を、バケツに静かに入れます。
③ハンドミキサーか、ミキサーアタッチメントを付けた電動ドリルで撹拌します。
④撹拌しながら、水を0.1リットル程度加えて、硬さを調整して下さい。

《補足》

※より良い仕上げの為には、撹拌した後網を通します。撹拌残りのダマを取り除きます。
※ヘラは塗布や均しに使用します。

《塗布》

ローラー

ハケ

コテ

ヘラ

スクレーパー

《塗布手順》

①ローラーやハケで壁に下地処理材をのせていきます。
※あとで均すので、切れがないように塗る必要はありません。
②のせた下地処理材をすぐに、コテやヘラやスクレーパなどで平滑に均します。
コーナーや見切り近くの細かい場所もはハケやコテを使って均一に塗って下さい。
※１人が壁にのせ、２人目が均すと効率よく進められます。
※下地処理材を塗布して若干乾燥が進むと、平滑にし易くなります。但し、乾燥し過ぎると修正出来なくなりますので、乾きのタイミングを見て平滑にします。
※撹拌した下地処理材は６時間程度使用出来ますが、出来るだけ早く使い切ってください。
※塗装用外部は、1時間程度で硬化が始まるので時間内に使い切ってください。

《注意》

塗る面以外の場所に下地処理材が付着してしまった場合は、乾く前に拭きとって下さい。
完全に乾いたあとでは拭取りにくくなってしまいます。
均し作業は手早く乾く前にする必要があります。初めて施工される方は一度に沢山塗ることは難しいので10㎡くらいからはじめて下さい。
塗装用外部は、上塗り施工が終わるまで雨などに打たれないようにしてください。
施工中、施工後の乾燥期間中に、気温が3℃以下になる恐れのある場合は施工できません。

《乾燥》

夏季２時間以上、冬季４～５時間以上乾燥させてください。
塗布した後は、窓を開けて風とおりをよくする、扇風機をつけるなどすると早く乾きます。

《補足》

※下地処理材乾燥後、表面の凹凸を確認します。凹みの部分は下地処理材を埋め込み、凸部分は金属のヘラなどで削ります。
※より良い仕上げの為には、シーラーを全面に塗布してください。上塗りの作業時間が長くなり、特に大きな面積を施工する場合に有効です。
※吸水の大きな下地には、必ずシャトーブランシーラー材を塗布してください。

3 上塗り

《道具》

ローラー

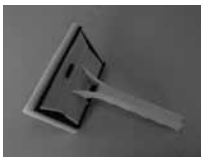
ハケ

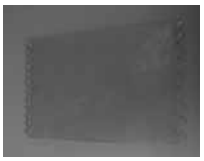
ゴム手袋

軍手

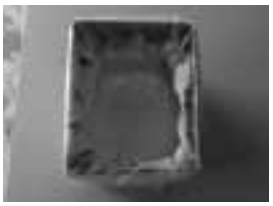
ミキサーアタッチメント

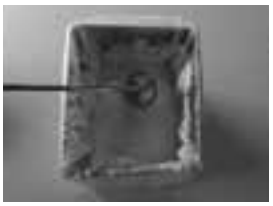
コテ


コテバケ


クシ目コテ

《配合手順》





1. 上下を間違えないように梱包を開梱して下さい。ラベルが読めるように開梱して下さい。
   ダンボールをそのまま容器として使うので、ビニールを写真のようにして下さい。
2. 使用前に硬さを調整します。最大0.5リットルくらいを目処に清水を加え、ハンドミキサーやミキサーアタッチメントで練り直します。
   偏った塊（ダマ）がなくなるまで良く混ぜます。
   一気に入れるのではなく、硬さを見ながら加水して調整して下さい。硬さが良ければ加水なしでも使用出来ます。
3. ローラーを使用して、シャトーブラン塗料タイプを塗ります（下塗り）。下塗りは、0.2〜0.3㎜程度の厚さで、出来るだけ均一に塗ります。角部などのローラーが入らない部分は、ハケなどで塗ります。
4. 下塗りしてすぐに、仕上げ塗りを塗ります（仕上げ塗り）。下塗りの上に、もういちどシャトーブラン（塗装用）を塗ります。
   仕上げ塗りは、0.2〜0.3㎜程度の厚さで塗ります。下塗りが乾かないうちに追いかけて仕上げ塗りを行います。

※１回での塗り付けも可能ですが、塗り厚さを均一にする為、２回に分けて行います。
※コーナーや見切り近くの細かい場所も、ハケなどを使って均一に塗って下さい。

※密閉しておけば数ヶ月〜半年は練り直したあとでも使用可能です。

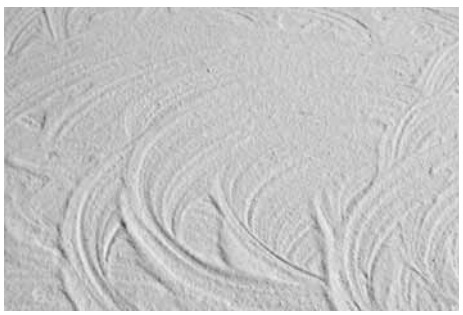
《模様付け》

シャトーブランを塗ってすぐに模様付けします。塗布してから模様付けまでのタイミングで仕上がりが変わりますので、出来るだけ一定のタイミングで仕上げます。

＜１. ローラー、刷毛、手袋仕上げ＞

ローラー仕上げ

ハケ引き仕上げ


手袋仕上げ

＜2.コテ、コテバケ、クシ目コテ仕上げ＞

シャトーブラン塗料タイプは薄塗りですので、大きな凹凸のある模様にはなりませんが、下地材料まで透けない程度で模様付けすることが出来ます。
※凹凸の大きさにもよりますが、「コテ スパニッシュ仕上」、「コテ 扇仕上」、「クシ目コテ ウェーブ仕上」では、特にシャトーブラン塗料タイプの使用量が増える傾向があります。

コテ 鏝波仕上げ

コテ ラフ仕上げ

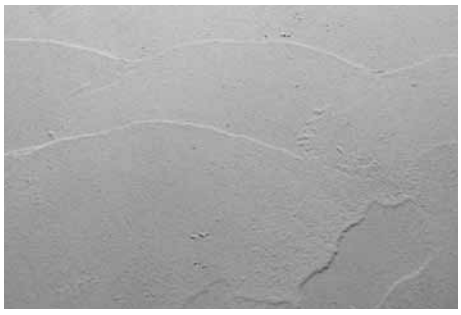
コテバケ仕上げ

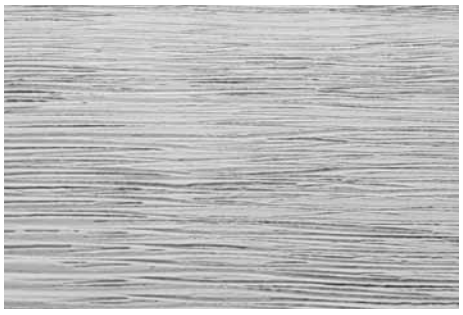
コテバケ ラフ仕上げ

コテバケ スパニッシュ仕上げ

コテバケ 扇仕上げ

コテ スパニッシュ仕上げ


コテ 扇仕上げ


クシ目コテ ウェーブ仕上げ

＜3.平滑仕上げ＞

平滑にするには、コテで数回押さえ表面を平滑にならします。
シャトーブラン塗料タイプは、時間の経過と共に表面乾燥が進み、表面が固くなっていきます。表面が柔らかい状態では平滑になり難く、表面が固くなると大きな凹凸の修正が困難になります。そのため、仕上げ塗り後のならしは、表面乾燥を見ながら、表面凹凸を修正し、平滑になるように複数回行います。また、さらに平滑にするためには、ある程度平滑になった状態から、柔らかいステンレス鏝などを使用します。シャトーブラン塗料タイプは薄塗りですので、平滑な仕上げにするには、下地が平滑であることが必要です。

《乾燥》

夏季２時間以上、冬季４～５時間以上乾燥させてください。
窓を開けて風とおりをよくする、扇風機をつけるなどすると早く乾きます。

《外部でご使用の場合》

下地処理には、漆喰用下地処理材塗装用外部をご使用下さい。
施工中、施工後の乾燥期間中に気温が3℃以下になる恐れがある場合は施工できません。
外部での表面劣化を防止するのに、シャトーブラン表面保護材を上塗り乾燥後必ず塗布してください。

《注意》

シャトーブラン塗料タイプを保管する場合は、凍結、及び高温・多湿にならない場所にしてください。また、子供の手の届かない所に保管し、誤飲・誤食をしないようにしてください。
誤って口に入った場合は多量の水で洗い流してください。誤って飲み込んだ場合は、医師の診断を受けてください。
目に入った場合はこすらずに、多量の水で洗い医師の診断を受けてください。手や肌に付着した場合は、石けん水でよく洗い流し、痛みや皮膚に変化がある場合は医師の診断を受けてください。
残った材料や材料が付着したバケツやローラーを廃棄する場合は、産業廃棄物として適切に処理して下さい。
施工で使用したバケツやローラーは水道管が詰まる恐れがあるため洗って再度使用することはできません。
コテやミキサーアタッチメントは乾く前に、濡らせた新聞紙や雑巾などで拭取ってください。

●●● sanwacompany

株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.
● お客様相談センター　受付時間：土・日・祝日を除く　9：00～18：00　TEL：0120-468-838　FAX：0120-382-096
● 東京ショールーム　受付時間：年中無休（年末年始・夏季休暇は除く）10：00～18：00　TEL：03-5775-4763　FAX：03-5775-4764
● 大阪ショールーム　受付時間：年中無休（年末年始は除く）　11：00～19：00　TEL：06-6359-2930　FAX：06-6359-1395
● 名古屋ショールーム　受付時間：年中無休（年末年始・夏季休暇は除く）10：00～18：00　TEL：052-935-2217　FAX：052-935-2218